

会 議 録

会 議 の 名 称	令和3年度第1回弘前市子ども・子育て会議
開 催 年 月 日	令和3年8月6日（金）
開 始 ・ 終 了 時 刻	14時00分 から 15時30分まで
開 催 場 所	弘前市役所 前川新館6階 大会議室
議 長 等 の 氏 名	佐藤 三三
出 席 者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐藤 三三 会長</li> <li>・葛西 美樹 副会長</li> <li>・三橋 扶弥子 委員</li> <li>・井澤 優子 委員</li> <li>・三浦 隆史 委員</li> <li>・齋藤 昭 委員</li> <li>・相馬 玲子 委員</li> <li>・川内 佐希子 委員</li> <li>・鳴海 誠 委員</li> </ul>
欠 席 者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金子 泰雅 委員</li> <li>・笹森 麻野 委員</li> <li>・古山 剛弘 委員</li> <li>・對馬 大輔 委員</li> <li>・グリゴレ イリナ 委員</li> </ul>
事 務 局 職 員 の 職 氏 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康こども部長 三浦 直美</li> <li>・こども家庭課長 石澤 容子</li> <li>・こども家庭課長補佐 吉崎 拓美</li> <li>・こども家庭課長補佐 竹内 孝行</li> <li>・保 育 係 長 長谷川 竜太</li> <li>・健 全 育 成 係 長 吉村 友香</li> <li>・子 育 て 相 談 係 長 北畠 龍</li> </ul>
会 議 の 議 題	<p>(1) 弘前市子ども・子育て支援事業計画実施状況について</p> <p>(2) 令和4年度の弘前市総合計画後期基本計画の策定に向けた意見聴取</p>
会 議 結 果	<p>(1) 令和2年度及び令和3年6月末までの事業実施状況について、事務局より報告を行った。</p> <p>(2) 出席委員4名から意見を得る。</p>

<p>会議資料の名称</p>	<p>資料1 弘前市子ども・子育て会議の役割について  資料2-1 弘前市子ども・子育て支援事業計画について（事業概要）  資料2-2 【第2期】弘前市子ども・子育て支援事業計画 実施状況  資料3-1 弘前市総合計画後期基本計画策定のための各種団体からの意見聴取について  資料3-2 弘前市総合計画に関する資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弘前市総合計画【概要版】</li> <li>・総合計画の政策体系図</li> <li>・施策の方向性「2 地域全体で取り組む多様な子育て支援」</li> <li>・施策評価シート</li> </ul> <p>施策1) 子どもの健やかな成長の応援  施策2) 多様なニーズに対応した子育て支援の充実</p>
<p>会議内容</p> <p>（発言者、発言内容、審議経過、結論等）</p>	<p><b>○開会</b></p> <p><b>【司会】</b>  「令和3年度第1回弘前市子ども・子育て会議」を開会いたします。</p> <p>委員の交代もありましたが、本会議の趣旨は、市町村に策定が義務付けられている「子ども・子育て支援事業計画」の策定や変更、進行管理を行うため、委員の皆様にご審議・ご意見いただくというものになっております。本会議の詳細については、資料1「弘前市子ども・子育て会議の役割について」をご確認ください。</p> <p>本日まで出席の委員は9名で、ご欠席は5名となっており、委員の半数以上が出席されておりますので、会議成立とさせていただきます。</p> <p>議事進行について、会長よろしく申し上げます。</p> <p><b>○案件（1）弘前市子ども・子育て支援事業計画実施状況について</b></p> <p><b>【議長】</b>  それでは、会議の進行を務めさせていただきます。  案件（1）について、事務局から説明をお願いします。</p> <p><b>【事務局】</b>  （資料2-1、2-2に沿って説明）</p>

**【議長】**

ご質問等ございますか。ご感想でも構いません。

**【委員】**

資料 8 ページの妊婦健康検査事業の量の見込みの単位について。14回/人となっているのは、妊婦 1 人に対してか、それとも子ども 1 人に対してなのか。多胎児の場合、検査が 14 回で終わらない。2 人の子どもを年度をまたいで産んだ場合は全てが助成の対象となり、多胎児のときは、市の助成を受ける部分と、自費で払う必要がある部分とがあると思っていたのだが。

**【事務局】**

妊婦健康検査事業は、妊婦の身体の検査であるため、妊婦に対する検査回数ということになっている。出産後の子どもに係る検診は、子どもの数に対しての検査回数となっている。今お伝えいただいた内容については、保健センターにも連絡したい。

**【委員】**

母子健康手帳をもらいに行った際、担当者も、妊婦健康診査の受診票の交付方法がよく分からない様子であった。医療機関と市との板挟みになり、困った部分もあったため、市にはそのあたりを周知していただけるとありがたい。

**【議長】**

事務局のほうで、よろしくご配慮願いたいと思います。その他いかがでしょうか。

**【委員】**

資料 15 ページの放課後児童健全育成事業の概要について。「授業の終了後に小学校の余裕教室を活用して～」とあるが、教室を開けている時間について教えていただきたい。

**【事務局】**

学校のある日は、授業の終了時間が一番早い児童の 30 分～1 時間ほど前から準備をし、19 時まで開所している。その後の清掃時間を含め、最大 19 時半まで教室を借りることとしている。学校のない日は、7 時 30 分から 19 時で統一して

いる。

**【委員】**

資料10ページの子育て短期支援事業について。  
「②確保方策」の数値の算出根拠をお聞きしたい。

**【事務局】**

ショートステイ事業における確保方策1, 095人日については、弘前乳児院の本事業に充てる余裕定員3名分×365日という計算になっている。

**【委員】**

1日に3名までは受け入れられるという計算なのか。

**【事務局】**

実施施設とはそのような内容で調整しているが、実態としては、施設自体の入所状況により、その都度余裕定員数は変わる場合がある。

**【委員】**

トワイライトステイ事業の利用料金を教えてほしい。

**【事務局】**

1人1時間当たり、月～土曜日までは100円、日・祝日は200円となっている。食事の提供を受けた場合、1食350円の実費負担となる。

**【委員】**

就労等といった利用の理由にかかわらず、有料ということではよろしいか。

**【事務局】**

あくまで利用実態に応じた費用徴収となっているため、一律この料金となる。

**【委員】**

子どもの育ちを考えたときに、ずっと保育所等や施設に預けられる状況が生じないよう、トワイライトステイ事業においても、子どもの利用している保育所等や保護者の状況など

の背景を理解した上で預かることが望ましいと考える。また、保育所等でも、必要に応じてトワイライトステイ事業の利用状況を把握することができれば良いと思う。

**【事務局】**

制度利用により子どもに負担がかかることは望ましいことではないため、事業実施者と相談してまいりたい。

**【議長】**

なにか他にお気付きの点等ございますか。

(発言なし)

**○案件（２）令和４年度の弘前市総合計画後期基本計画の策定に向けた意見聴取について**

**【議長】**

案件（２）について、事務局から説明をお願いします。

**【事務局】**

(資料３－１、３－２に沿って説明)

**【議長】**

弘前市総合計画の後期基本計画をこれから作るにあたって、委員の皆様から意見をお聞きして、参考にしていきたいということなのですが、いかがでしょうか。

**【委員】**

小学校の校内になかよし会がある学校は、何校か。

**【事務局】**

なかよし会は市内１４か所あり、このうち、常に小学校の校内で実施しているのは１０校となっている。

**【委員】**

子どもたちのなかよし会での様子について、なかよし会の先生と学校の先生とで話し合う時間を取ったりしており、情報交換の場が大事と考えている。学校とこども家庭課とで、定期的な話し合いや連絡の場を持つことも必要かと考える。

**【委員】**

なかよし会の先生というのは、どういう方々がやっているのか。どういう資格があるのか。

**【事務局】**

子どもの人数に応じ、市の会計年度任用職員を配置している。資格であるが、国の基準に従い、県が主催している放課後児童支援員認定資格研修を受講した者を配置しており、もともと保育士の資格がある方や、教員免許状を所持している方、社会福祉士の資格がある方などがメインとなっている。これらの資格がない方でも、2年以上実地で勤務した場合には、放課後児童支援員認定研修を受けることができる。また、有資格者を必ず2名以上配置することとしている。

**【委員】**

市の施策・事業について、もう少し教員に周知してもらえば、保護者からのより多くの相談や悩みに対し、事業を紹介するなどの対応が出来るようになるのではないかと思います。

**【委員】**

多胎児に関しては、正直なところ県や他市の方が進んでいて羨ましいと思う施策がある。さんかくネットが廃止となったが、多胎児の保護者で自宅で苦しんでいる方も多いと思うので、そういった方にも寄り添った事業の実施を望んでいる。

**【議長】**

他に比べると、ということですが、少し具体的に教えていただけますか。

**【委員】**

どこの市町村かは失念してしまっただが、多胎児を育児中の保護者を対象に、ホームヘルパーを派遣するという事業を行っているところがある。金銭的な支援に関しては、他市が羨ましいと感じることもある。

**【議長】**

昔と比べると多胎児も増加しているように思いますので、今まで以上に違った面で色々施策を考えていく必要があるかと思っています。弘前に生まれてよかった、産んでよかったとい

う、そういうことが住みよいまちの大きな条件になろうかと思しますので。その他いかがでしょうか。

**【委員】**

なかよし会等での子どもの1日の過ごし方について。その内容については、各施設に委ねられている部分もあるのだろうが、多忙でなかなか出かけられない保護者もいると思うので、室内での活動のみでなく、どこか外へ出かけるといった活動などがあれば、もっと魅力的なものになるのではないかと思った。

**○その他**

**【議長】**

それでは、次第3にある「その他」も含めて、何かございましたら。

(発言なし)

**【議長】**

この会議は、「生まれてよかった」「住んでよかった」「最期を迎えてよかった」と言われるような弘前にするための、その出発点でもありますので、また色々のご意見等を頂けるようよろしくお願いいたしますと思います。

**○ 閉会**

**【司会】**

以上を持ちまして、「令和3年度第1回弘前市子ども・子育て会議」を閉会いたします。

その他必要事項

会議は公開